



京都

市会だより

増刊号

令和3年(2021年)
4月16日発行

京都市会ホームページ 京都市会 検索

2月市会 予算特別委員会総括質疑

3月17日(水)、18日(木)

**どうする財源不足!
感染症対策を含む過去最大の
一般会計1兆円超の予算を
徹底審議!**

2月市会では、事業の休止や最小必要規模を維持しによる財源捻出について、また、保健・医療・セーフティネットをはじめとした一般会計総額約1兆8,877億円の令和3年度当初予算について、徹底的に議論しました。



吉井 あきら 予算特別委員長
山科区(自民)

全議員66名で構成する予算特別委員会総括質疑では、次の41名が今後の市政運営について市長等と厳しい議論を行いました。その一ををご紹介します。

総括質疑
京都市の令和3年度当初予算を審議するため、予算特別委員会を設置しました。特別委員会では、3月4日~11日に、事業を担当する各局に詳細な質問を行い、その見返りとして、市長や副市長らと一緒に各で質疑を行うのが、総括質疑です。

3月17日(水)



3月18日(木)



白紙した議題の様子をお手元のスマートフォンでご覧いただけます。

予算特別委員会 総括質疑1日目

3月17日(水)

*質疑順に掲載しています。



寺田 一博
上京区(自民)

巨額の財源不足の中、これまでの延長策でない改革を行うためには府民の理解が必要だ。



加藤 あい
左京区(共産)

コロナ禍という急変に使った総額額をやめて、歳入確保を徹底して財源を確保すべきだ。



大道 義知
南区(公明)

新型コロナウイルス感染症の夜間診療等の新たな診療やPCR検査の拡充にどう取り組むのか。



山岸 たかゆき
伏見区(自派)

公営事業団の取組から強みを生かす。商売を決めて行財政改革に取り組むべきだ。



森 かれん
上京区(公明)

市政における障がい者雇用の法定雇用率の達成に向けて、積極的な取組が必要だ。



中村 三之助
上京区(自民)

中小企業等向け交遊奨励金は、制度内容を周知徹底し、状況に応じた返済補正が必要だ。



くらた 共子
上京区(共産)

高齢者施設に加え、医療機関や障害者施設に対して定額のPCR検査を実施すべき。



みちはた 弘之
伏見区(自民)

人口減少の中、若者が京都市で働き、勉強し育つ環境を持つため、どうするか。



兵藤 しんいち
北区(公明)

今後の財政再建に向け、リポーターの育成や地域による変革の体制づくりが必要だ。



山田 こうじ
右京区(共産)

コロナ禍による市バス・地下鉄の大幅な減収に対し、国からの損失補てんが必要だ。



森田 守
右京区(自民)

行財政改革による財源差出15億円には、当該額が多く見られる。正確な説明を行うべき。



西野 さち子
伏見区(共産)

男女共同参画を推進してきたが、性別による役割分担の強弱をどう調整しているのか。



天方 ひろゆき
西京区(自派)

厳しい経営状況の市バス・地下鉄を市民の定として守るために、どう取り組むのか。



平山 たかお
東山区(自民)

厳しい行財政改革は、市長が本気でやることを決めたなら必ずできると思う。本気度を見よう。



国本 友利
左京区(公明)

コロナ禍と財政赤字という二つの危機の中で、地域企業の下支え等の経済対策の方針を伺う。



裏面に続きます。

小山田 春樹
石山区(京都)
コロナ禍で、患者や家族、医療関係者や働く立場の人々の人権を、どう守っていくのか。

やまね 智史
伏見区(京都)
不要不急の大型投資ではなく確実の予算を効率的に配分。コロナ禍の今こそ減らすべき。

やまづ まい子
下京区(白河)
セーフティネットの役割をもつ区民側の利用機会を創出し、本に頼りぬる工夫を求める。

くぼた まさき
伏見区(醍醐)
東日本大震災から10年、大きな防災意識の向上について防災意識と今後の方針を問う。

田中 明秀
西京区(白河)
市(又事業)の管理の受容は経営改善に効果を生かしたか、今後どう取り組むのか。

森川 央
西京区(南所原)
都市域向上が定住・移住促進につながっていない。全戸個別所有の奨励も含むべき。5月2日公開

予備質問委員会
総括質疑 21日
3月18日開
※質疑に際しては、

棕田 隆知
南区(白河)
未曾有のコロナ禍と財政の危機を乗り越えるため、市民や事業者と信頼感を共有すべき。

樋口 英明
左京区(伏見)
国の地方交付税削減方針を転換させ、厳しい市民の暮らしと生業を支援すべきだ。

平山 よしかず
西京区(公団)
コロナ禍での深刻な社会的弱者の防止に向け、市民と力を合わせた施策の推進が必要だ。

片桐 直哉
北区(西)
地域振興について、地域とビジョンや特色に合致すれば中心部の商業開発と緩和するの。

神谷 修平
下京区(京都)
新型コロナウイルスの感染が定常化される。検査と感染の広がりをどう捉えているのか。

下村 あきら
下京区(白河)
要望していた防災版の全面的なリニューアルが行われた。その効果をどう感じるか。

鈴木 とよこ
山科区(伏見)
子育て支援充実に向け、中学校卒業までの児童養育科員、5歳児保育事業の創設が必要だ。

田中 たかひ
石山区(白河)
行財政改革に向けた職員の意識改革が重要。市長の熱意を賛同一人一人にどう届けるのか。

松田 けい子
山科区(白河)
子育て世代のフックアップに際する正しい情報の提供と、被災型世帯等への対応が必要だ。

ほり 信子
右京区(伏見)
職員一人が担当する生活保護受給世帯数を国基準の80%以下とし、丁寧に対応すべきだ。

さくらい 泰広
左京区(白河)
市民生活支援再生事業、ハード面の整備が一つの目的だが、政策としての目的は何か。

かまの 敬徳
下京区(伏見)
中小企業の経営状況に対し、国に支援を求めるだけではなく市の役割で支えるべきだ。

小島 信太郎
山科区(西)
公平性や受益者負担も考えながら、市の魅力を高めるための行財政改革を進めるべき。

豊田 恵美
左京区(白河)
広域的な森林管理で生産性を高め、自立した業としての林業を育成する必要がある。

湯浅 光彦
右京区(公団)
財政危機下での予算減額は市民への丁寧な説明が必要で、情報公開も不可欠だ。

大津 裕太
中京区(京都)
市民生活を守るために建設費削減も公務員費最高1,000割の削減と妥当性は。

井坂 博文
北区(伏見)
過去の大幅な公共事業が財政に及ぼした影響に引き合い、財政危機の原因を総括すべき。

井上 よしひろ
右京区(白河)
バリアフリー条例改正に基き新基準の適用について協働事業者の役割に丁寧に対応すべき。

宇佐美 賢一
左京区(新新)
業務改善と市民サービス充実に、改革への体制と組織を市長選前組織にまで定めるべき。

津田 大三
中京区(白河)
財政費は今に抑えられたことではない。なぜこれほど厳しいのか本質的な原因を問う。

自民＝自由民主党京都市会議員団
共産＝日本共産党京都市会議員団
公明＝公明党京都市会議員団
民進＝民主市民フォーラム京都市議員団
京都＝地域政党京都府市会議員団
維新＝日本維新の会京都市会議員団

*** 市会からのお知らせ ***

令和3年 定例会の開催予定

会期は令和3年4月22日(木)から令和4年3月25日(金)までの338日間の予定です。4月開会市会を4月22日に開会します。5月市会は5月18日(火)から6月1日(火)まで開催する予定です。詳しい市会の日程は、市会ホームページから閲覧いただけます。(※日程は変更になる場合があります)
■本会議 代表質問 5月21日(金) 市民の声を届ける!
議員が各会派を代表して、市政の各般にわたって、市長に質問・提言を行います。

KBS京都テレビでも生中継

インターネット会議中継
本会議や委員会の生中継と録画をインターネット配信しています。

新型コロナウイルス感染症の予防及び拡大防止のため、本会議の傍聴は、当該の観できる限り控えたいいただきますようお願いします。

こちらもぜひご覧ください!

※本議会の二審内については、変更の可能性がります。最新の情報も、市会ホームページをご確認ください。
2月市会前半の審議結果(令和2年度補正予算の議案等)について、市会だより114号(令和3年4月15日号)でお伝えしています。
市会だよりは、市営しんぶん(区)にもあみ込んで配布している他、区役所や公民館等でも配発しています。

